

とんぼ(蜻蛉)

オグマサナエ



【田部早苗】 名前は、幼虫の発見者「田部氏」に由来。中部地方以西に分布。体長40～45mm 宮崎県絶滅危惧Ⅱ類 4月～6月

【小熊早苗】 名前はトンボ学者の小熊博士に由来。早春から田植え時期に多く出現するサナエトンボ科の個体には、「早苗」が付けられています。体長約45mm 4月～6月

夕ベサナエ



ミヤマアカネ



【深山茜】 雌雄ともにはねの先つばに褐色斑がありますが、縁紋の色は違います。深山とは裏腹に丘陵地や里山、低山地のゆるやかな流れ、田んぼにも生息 6月～12月

マイコアカネ



【舞子茜】 顔の白さとライトブルー色が舞子さんをイメージするところから命名。全国に分布していますが、限定された場所まで生息。宮崎県準絶滅 6月～11月

マユタテアカ



【眉立茜】 顔の黒い斑点が眉に似ているところから名前が付けられています。北海道から南西諸島まで生息。6月～11月

- ナツアカネ
- ネアカヨシヤンマ
- ノシメトンボ
- ハグロトンボ
- ハネビロエントンボ
- ハラビロトンボ
- ベニトンボ
- ホソミオツネトンボ
- マイコアカネ
- マユタテアカネ
- ミヤマアカネ
- ムカシトンボ
- モートンイトンボ
- モノサシトンボ
- ヨツボシトンボ
- リスアカネ



北川湿原は
トンボの楽園

ショウジョウトンボ



【猩々蜻蛉】 全身まっ赤っかで美しい深紅色。雄は縄張り意識が強く攻撃的。「猩々」とは、赤い顔をして言葉を理解する人間に似た空想上の大型類人猿。4月～10月

ベニトンボ



【紅蜻蛉】 池沼や湿地に生息する中型のトンボ。東南アジアなどに分布。1980年代以降、九州や四国で見られるように。オスは赤紫色、メスはオレンジ色。体長約40mm 6月～11月

ハラビロトンボ



【塩辛蜻蛉】 日本中どこでも見られ、最もポピュラーなトンボ。雄の体の白粉が、塩辛コンブの塩にたとえられてこの名前になりました。4月～10月

【腹広蜻蛉】 腹部が幅広いトンボ。北海道から九州まで分布。雄は黒、雌は黄色をしています。4月～9月

シオカラトンボ

